

# 四賀地区 図書だより

令和6年4月1日号

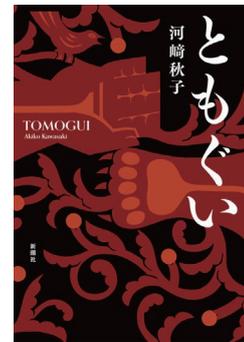
発行 四賀公民館図書視聴覚委員会  
(事務局 TEL 64-3112)

## 新着本の紹介

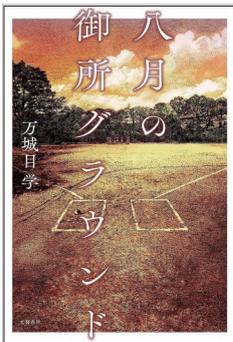
本を手取る時間がないと嘆いていたら朗読アプリを教えてくださいました。1年間で読んだ(聴いた)本は50冊に。運転中とトレーニング中、草刈りの最中も聴いています。全部買ったなら数万円分の本を月1,500円で聞けるのはありがたいです。でも...ほとんど図書だよりで紹介している本。図書室で借りれば無料です。



『東京都同情塔』  
九段理江著



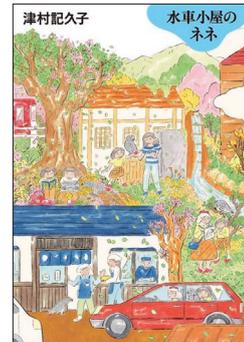
『ともぐい』  
河崎秋子著



『八月の御所グラウンド』  
万城目学著



『君が手にするはずだった黄金について』  
小川哲著



『水車小屋のネネ』  
津村記久子著



『存在のすべてを』  
塩田武士著



『成瀬は天下を取りに行く』  
宮島未奈著



『リカバリー・カバヒコ』  
青山美智子著



『レーエンデ国物語 1・2・3』  
多崎礼著



『櫻がけの二人』  
嶋津輝著



『まいまいつぼろ』  
村木嵐著

 <p>『台北アセット』 今野敏 著</p>	 <p>『暮じまいのラプンディ』 垣谷美雨 著</p>	 <p>『深夜カフェ・ポラリス』 秋川滝美 著</p>
 <p>『余白の迷路』 赤川次郎 著</p>	 <p>『風に立つ』 柚月裕子 著</p>	 <p>『ガザとは何か』 岡真理 著</p>
 <p>『暮らしのうっかり事故を防ぐ本』 国崎信江 著</p>	 <p>『話す力 心をつかむ44のヒント』 阿川佐和子 著</p>	 <p>『放課後ミステリクラブ (1) 金魚の泳ぐプール事件』 知念実希人 著</p>
 <p>『君たちはどう生きるか』 宮崎駿 原作</p>	 <p>『大ピンチずかん 1・2』 鈴木のりたけ 作</p>	 <p>『オニのサラリーマン じごくのしんにゅうしゃいん』 富安陽子 文</p>

### 図書室談義「四賀に生きるホタルに学ぶ」その後

柳沢先生から寄稿をいただきました。冬のホタルに関する新たな発見があったそうです！

「四賀小学校4年生は、秋から冬も引き続きホタルの研究を続けています。学校周辺の用水路にはカワニナが豊富に生きており、同じ場所にゲンジボタルの幼虫がいることをつきとめました。4匹だけ幼虫を採取し、四賀小で大切に育てて生態を調べています。また、ヘイケボタルの餌となる貝の調査も行い、マジミ貝という絶滅危惧種の貝が保福寺川にいることを発見しました。



毎年、四賀の生き物を通して学んでいると、何か新しい発見があり、子どもたちも楽しく研究しています。興味のある方は、ぜひ小学生と一緒に学んでみませんか。」

### 編集後記

窓から見える雪の斜面の鹿の足跡を見てため息。「シカに濁点つけたらシガだ」くだらない気付きにため息は深くなり。今年は何かアクション起こすぞ。